



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)2月25日号 No.1851

目次

■ 2020年のロシアの貿易	1
一 油価下落で輸出が大きく落ち込む	
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 9
■ 『ロシアNIS調査月報』2021年3月号のご紹介	15
■ キーパーソン	16
キルギスでマリポフ新内閣発足	16
■ エトセラ	17
トムスクAIピッチデイ開催	17
日本水素技術ウェビナー開催	18
「ロシア・ハバロフスク地方ITセミナー」開催	18
■ トピックス	18
ウズベキスタンでノーコード開発エンジン拠点を新設	18
カザフスタンのデジタルインフラ・サービス業に投資	18
JAL、羽田～モスクワ線を定期便へ	19
舞鶴市、ウズベキスタンと覚書	19

2020年のロシアの貿易 一 油価下落で輸出が大きく落ち込む

はじめに

2020年のロシア貿易統計の概況が発表されたので、今号ではこれを図表にまとめてお届けする。なお、2020年のロシアの貿易統計については後日、『ロシアNIS調査月報』でより詳細に報告する予定である。

ロシアの貿易統計には、大別すると、①中央銀行が発表している国際収支ベースのもの、②連邦税関局が発表している通関統計ベースのもの2種類がある。国際収支ベースの輸出入額の推移を示したのが、図表1である。2020年のロシアの商品輸出は3,317億ドル(前年比21.0%減)、輸入は2,397億ドル(前年比5.8%減)であった。コロナ禍で特に輸出が大幅に縮小しており、貿易黒字も前年より縮小し、920億ドルとなった。

図表2以下は、すべてロシア連邦税関局が発表した通関統計である。通関統計では、輸出3,363億9,380万ドル(前年比20.7%減)、輸入は2,314億2,950万ドル(前年比5.3%減)となっている。

図表2を見ると、2020年のロシアの輸出では主力の燃料・エネルギーの縮小が顕著である。これはコロナ禍で世界的にエネルギー需要が落ち込んだことはもちろんであるが、それ以上に資源価格の下落によるところが大きいと考えて間違いないだろう。というのも、図表4によれば、原油の輸出は